

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 26 日(土)

試合時間：18：20～

CC：仲間 芳幸

U1：比嘉 涼太

U2：野田 広樹

九州共立大学	○ 85	24	—1st—	21	● 71	東海大学九州
		16	—2nd—	18		
		20	—3rd—	18		
		25	—4th—	14		

第 1 クォーター

九共大 #24 ハッサンのジャンプシュートで試合がスタート。その流れのまま、#11 久保田が 3P シュートを決め、得点を重ねる。流れを掴みたい東海大は、#13 久保がスピードある鋭いドライブで攻め、攻撃を仕掛ける。東海大はその後も激しいディフェンスで追い打ちをかける。流れを取り戻したい九共大は #3 奥田、#8 上田が 3P シュートを決めるも、東海大 #23 中村、#1 立石が 3P シュートを決め返し激しい点の取り合いが続く。24-21 の九共大リードで 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

序盤、東海大 #7 石橋が 3P シュートを決め、同点に追いつく。リードしたい九共大は、#24 ハッサンがジャンプシュートを決め勢をつける。その後も #14 田川のドライブなどで得点するが、東海大 #70 森口のジャンプシュート、#13 久保が速攻で得点を取り、なかなか点差は離れない。しかし、九共大は #11 久保田を中心に攻め、確実に点差を付けていく。流れが欲しい東海大は、残り 1:48、タイムアウトを請求する。その後、東海大 #70 森口が 3P シュートや速攻で得点し、40-39 の 1 点差に詰めるが、九共大リードでのまま前半を終える。

第 3 クォーター

前半同様、リードを広げたい九共大は、#24 ハッサンがゴール下のシュートを着実に決め得点を重ねる。一方、東海大はオフェンスリバウンドを取り続け、逆転のチャンス伺う。少しでも点差を縮めたい東海大は、#21 松井が 3P シュート、#13 久保がドライブで攻め、チームに勢いをつけようとする。しかし、九共大 #8 上田が合わせのシュートを決め、簡単に流れを渡さない。終盤、東海大 #21 松井がまたも 3P シュートを決め点差を縮めるが、60-57 の九共大が一步リードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

最終クォーターに入っても、九共大は攻撃の手を緩めない。それに対し東海大は、#21 松井がドライブでファウルを誘い、フリースローを決め、チームに勢いがつく。その後も #21 松井を中心に攻め逆転を図るが、九共大 #8 上田、#11 久保田に 3P シュートを決められ、点差を広げられてしまう。終盤、九共大は交代で入った #13 村嶋がドライブから得点し、チームを盛り上げる。最後まで攻守ともに攻め続けた東海大だったが、九共大が 85-71 で勝利を収めた。